

16~17 シーズン技術活動レポート

新潟スキー協 横田耕一

今シーズンの活動報告

・2016 年 9 月 10~11 日

関越ブロック、グランジャーキャンプ 於・長岡 道院
10 日-20 人参加 新潟 4 人 11 日-25 人参加 新潟 5 人

・11 月 26/27 日

全国技術部会 於・熊の湯スキー場

・12 月 3/4 日

中央研修会参加 講師 於・熊の湯スキー場

・12 月 14 日 (水)

県初滑り 於・丸沼スキー場

・2017 年 1 月 7 日

新年講習会 講師 坂内、横山 於・須原スキー場

・1 月 14 日

県レベルアップ講習 講師 大越仁 ・須原スキー場
6 名参加

・1 月 14/15 日

東京スキー協レベルアップ講習 不整地、小回り
講師参加 ・舞子スキー場

・2 月 4/5 日

県スキーフェスタ ・杉ノ原スキー場
ポールコース、指導員研修、初級コース、中級コース
こぶコース、フリー 31 名参加

・4 月 15 日 (土)

(予定) こぶレベルアップ講習 ・奥只見丸山スキー場

・2 月 4/5 日

中級指導員検定会 参加 1 名 ・片品スキー場

・3 月 4/5 日

全国スキー競技大会 参加 5 名 ・戸狩スキー場
他 各小学校スキー授業 講師 要請で参加

個人的に 2016 年 12 月 13 日～2017 年 1 月 7 日の間

腰痛で滑れない時期があり良いシーズンとは言えませんでした。が、徐々に体調管理をして活動に参加しています。

◎ シーズンを通して講習活動中に感じたこと

内傾角の作り方について、指導の中で大まかに理解が進んでいますが、実際に表現するにはまだまだ未熟な部分があります。そこで、ターンの身体の動きを円錐形にイメージしてもらいました。ターン後半だけでなく前半部分のイメージが強く感じられました。

そこに、内傾角を意識して身体を谷に落とすことができていきます。

中央研修会の講習ですが、教程解説ビデオも数年間同じ内容で講習していますが、研修会に参加される方は毎年或いは、隔年に講習を受けている場合が多く理解が進んでいます。ただ、理解と実際に表現出来る事とは別問題です。しかし、前年までは最初から順番どおりに講習を進めていましたが工程をクリアする事で大変でした。

今年は講習の理解度をある程度確認して要所を押さえた方法にしました。

講習方法ですが、先日ある某元デモのポールレッスンのビデオを見る機会があり凄く感じたのは、自分のレッスンの仕方に似ていると思ったことです。一生懸命に教えているのは解るのですが、話が長く耳に段々入って来なく退屈になることです。滑りは勿論素晴らしいのですが受講者に伝わっているのか疑問です。講習中に伝わらないとどうしても色んな事を言って理解してもらおうと空回りしているのがわかります。

指導方法の理解度を上げる事を考えると必ずしも間違っていないと思いますが、他のレベルアップ講習に持ち込むと面白くなく頭の重い講習になってしまうと思います。状況に合った講習を進めてゆきたいと思います。